

平成 20 年 2 月 26 日
経営企画部都市経営課

駅周辺環境に関する庁内ワーキングの設置について

高齢社会の到来に伴い、公共交通機関を利用した、移動における利便性の向上が求められているが、モータリゼーションの進展、商業施設の郊外化などにより、駅前商店街や駅周辺の中心性が低下していることから、公共交通機関の利用は伸び悩んでおり、各運営主体は財政的に苦しい経営を強いられている。

一方、北陸新幹線の開業が平成 26 年にも予定されており、JR 城端線・氷見線を利用したアクセス性の向上が求められていること、中心市街地（まちなか）の賑わい再生に向けた、周辺市街地との連動と公共交通全体の活性化が求められていることなどから、前段の課題を見据えながら、駅周辺の環境を整えていかなければならない。

また、駅周辺のまちづくりには、公共交通の利便性を高めるだけでなく、周辺環境における利用者の快適性を高めることも重要であり、そのための施策を総合的に進めていかなければならないと考える。

このため、市内 JR 駅周辺に必要な都市機能について調査・研究を目的とする、庁内ワーキングを設置する。

記

1 庁内ワーキングの概要

- (1) 調査期間 平成 20 年 4 月～平成 20 年 10 月頃を予定
- (2) メンバー 関係課中堅職員で組織 10 名程度
- (3) 事務局 経営企画部都市経営課

2 研究事項等

- (1) 氷見線・城端線駅周辺の現状及び課題の整理
 - 現状と課題
 - ・ 駅前広場、トイレ、駐輪場 等
 - 他市の状況
- (2) 整備の在り方
- (3) その他

担当：都市経営課政策調整担当
TEL20-1228（内 221）